

< リデュース >

当行では平成13年度から「ノーネクタイ運動」に取り組み、省エネに大きな成果を上げています。



< リユース >

「びわぎん事務機器リサイクル工房」では各店から運ばれてくる事務機やイス、ロッカーなどを修理して再生します。



3R活動+G (グリーン購入)

【Reduce】

「エコオフィス
づくり運動」

【Reuse】

「びわぎん
事務機器
リサイクル工房」

● ますます発展する ISO14001の取り組み

全国の第二地銀に先駆けて国際環境規格「ISO14001」を取得し、自らの環境負荷低減に取り組んでいます。

【Recycle】

「段ボール、
シュレッダーゴミ」の
リサイクル

【Green】

「グリーン購入」
の推進

< リサイクル >

使用済みとなった紙類をダンボール素材やトイレトペーパーとして再生使用しています。



リサイクルペーパーを寄贈

< グリーン購入 >

消費者として環境保全を支持し、事務用品から低公害車まで、環境に配慮したグリーン購入を進めています。



バイオディーゼル車を導入



びわこ銀行環境方針

基本理念

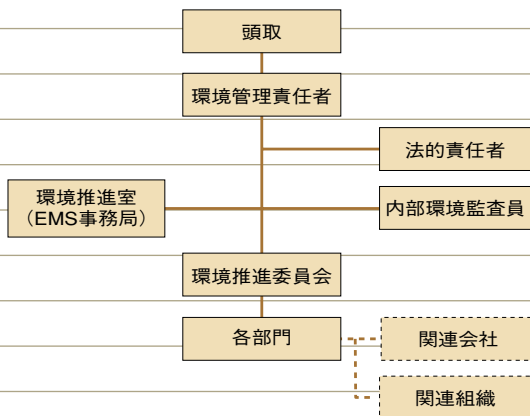
びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。

環境方針

1. びわこ銀行は、地球温暖化防止など環境負荷の軽減を推進するエコ・リーダーバンクとして、環境保全に資する商品・サービス・情報の提供など環境関連事業活動を積極的に展開し、環境保全活動の側面からも地域貢献を果たします。
2. 省資源、省エネルギー、グリーン購入など、環境に配慮した活動の実践により循環型社会の形成および汚染の予防に努めます。
3. 環境目的・目標を定めて、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 環境保全に関する法規則および、同意したその他要求事項を順守します。
5. 美しい琵琶湖を守る活動の一環として、緑の森林（もり）づくり運動の支援や環境教育の啓発に努め、基本理念および環境方針の趣旨を従業員一人ひとりが理解・共有し、行動することにより地域との交流を図ります。
6. 環境方針は当行の環境保全に関する決意として、一般に公表します。

制定 平成12年 7月 5日 株式会社びわこ銀行
 改訂 平成17年 7月 5日 頭取 山田 智

環境マネジメント組織図



環境マネジメントシステム登録証
 活動範囲：本店および事務センター [JQA-EM-1274]



平成17年2月、ISO14001定期審査を受審し、より高い目標を目指す当行の取り組みを評価いただきました

環境目的および目標

環境目標	実績	評価	推進状況
環境保全型・商品、情報の提供<環境銀行の運用>			
環境保全型商品	・エコ関連商品の開発	・環境サポートローン、ISOサポートローン取組 ・エコサポート(保証協会付き・環境ローン)の 取り扱い開始	○ ・優遇条件を適用 ・環境コベナンツ(特約)融資の取り扱い
	・エコ関連情報の提供	・個人ローンの推進	○ ・太陽光発電設置・低公害車導入 ・住宅性能基準を優遇条件に取り入れ
	・エコ関連情報の提供	・全店宛にメールで最新環境情報を 発信(157件)	○ ・最新の環境情報を都度発信
	・環境に配慮した頒布品の購入	・頒布品はすべて環境配慮商品としました	○ ・再生した陶器を頒布品としました ・手揚げ袋をエコ仕様になりました
ISOマネジメントシステムによる銀行業務の合理化および効率化			
	・各部門の特色を生かした効率化、 合理化につながる目標に取り組みました	—	・3R・3S活動、時間効率活動など
びわぎんエコオフィスづくり運動			
省エネ	・各部門は「運用基準」に基づく活動	・「運用基準」に基づき実行	○ ・各部門独自の運用基準を設定
	・全体の電力使用量は165.0万Kwh	・152.6万Kwh、前年比△2.5%	○ ・不要時の消灯励行、省エネ機器の設置
省資源 (ゼロエミッションへの挑戦)	・「関西エコオフィス宣言」参加により 「夏季省エネ(ノーネクタイ運動)」を展開	・本店および全店で展開	○ ・「関西エコオフィス宣言」「滋賀チャレン ジオフィス」お客様にも呼びかけました
	・低公害車率の向上、77.0%以上	・84.0%、前年比+7.5%改善	○ ・バイオ燃料(廃天ぷら油から精製)を導入
	・紙の使用削減、303.0万枚/年	・302.5万枚/年、前年比△0.7%	△ ・両面印刷の推奨、試し印刷・ミスコピーの防止
	・廃棄物(焼却紙)の削減、5.0トン/年	・4.8トン、前年比△11.0%	○ ・段ボール素材、トイレットペーパーにリサイクル
グリーン購入	・紙のリサイクル率向上、90.0%	・91.8%、前年比+2.6%改善	○ ・「紙ゴミ削減運動」展開
	・特定商品のグリーン購入率90.0%	・92.0%、前年比+2.8%改善	○ ・特定調達品目および判断基準に基づき推進
緑の森林(もり)づくり運動の推進			
環境全活動への支援	・びわぎん緑と水の基金による支援	・緑化推進、水環境保全、自主事業活動実施	○ ・延べ113千本の苗木を寄贈
	・びわこボランティア活動の推進	・びわこ水源の森林づくり実施 ・第9回「クリーンアップびわこ」への参加	○ ・「近江湖南アルプス」で100本植樹 (ヤマモモ、ヤマモミジ、ソメイヨシノなど) ・琵琶湖の美化に積極的に参加

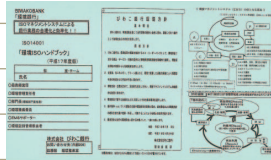
環境コミュニケーション

当行では、役職員への啓発はもとより、お取引先や地域に向けた環境関連情報発信により、さまざまな環境コミュニケーションを行っています。

■ 環境教育

「ISO14001」を運用していくためには、役職員一人ひとりの環境に対する意識改革が不可欠です。当行では、啓発活動として環境セミナーを定期的に開催し、地球環境保全の重要性、環境マネジメントシステムの仕組み等について学習しています。また、毎年内部環境監査員を数名養成しています。

役職員に対しては、「環境目標、かんたんルール、自覚の教育」等を記載した環境ISOハンドブックの携帯を徹底し、環境意識の昂揚に努めています。



環境ISOハンドブック



環境レベルアップ研修
＜ISO14001：2004年度版研修＞



土曜講座
・グリーン購入とグリーンコンシューマー
・水循環と雨水利用

■ 環境情報の提供

地域のエコ・リーダーバンクを目指す当行では、お取引先の皆さまに役立つ環境関連情報提供に努めています。平成17年2月には「省エネセミナー」を開催し、環境負荷の軽減とコストダウンの両面から有益な情報を提供しました。



省エネセミナー

- 環境報告書「びわぎん環境かわら版」を発行し、より多くの方に当行の取り組みを知っていただきました。



- 「エコさん一家の日曜日」毎年、滋賀県や琵琶湖の環境にまつわるテーマ（平成17年度「森のはたらきについて」）を選定し、お子さま向け環境学習冊子を発行しており、わかりやすいと評判です。また、巻末の環境クイズには毎回多数のご応募（平成16年度は約400件）をいただいています。（VOL6.17年度版は当行ホームページに掲載中）



- 「なるほどISO14001」
- 「びわぎん経済情報」
- 「びわこビジネスクラブ」事業主のお客さまへ、各種情報提供を行う「びわこビジネスクラブ」。環境ビジネス情報も充実しています。



（びわこビジネスクラブの環境関連情報ページを紹介します：抜粋）

- ▶ 環境・リサイクル
 - ・ 土壌汚染対策法の概要
 - ・ 環境技術開発に対する主な公的支援策
 - ・ 「循環型社会形成推進基本法」の概要
 - ・ 「京都議定書」の概要と中堅・中小企業の取り組み など
- ▶ ISO14000
 - ・ ISO14001構築術1 狙いは「環境経営」の体制づくり
 - ・ ISO14001構築術4 環境方針は経営方針 など



■ 訓練・汚染の予防

当行では、「重油の油洩れ（給油時、貯蔵時）」、「ハロンガスの洩れ」等を緊急事態として特定し、定期的に手順のテストと緊急事態訓練を実施して、必要に応じた見直しを行っています。平成16年度の事故発生件数は0件でした。

また、当行における騒音の測定値は基準以下となっています。なお、平成16年度の環境関連クレームはありませんでした。



緊急事態訓練

■ PCBの管理

PCBを含む使用済のコンデンサ、トランス、蛍光灯安定器などは、「PCB特別措置法」に基づき適切に保管・管理しています。

【PCB廃棄物保管状況】

種	類	平成16年 3月末	平成17年 3月末
高圧コンデンサ		1台	1台
蛍光灯安定器		101個	111個



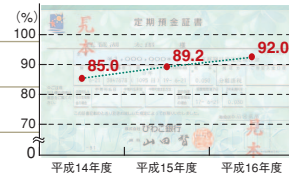
PCBを含むコンデンサ類保管庫

グリーン購入の推進

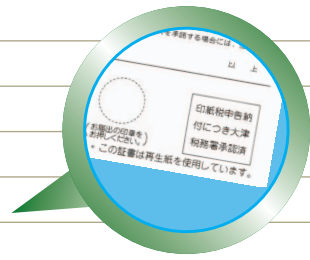
当行では、「グリーン購入基本方針」を制定し、事務用品から低公害車まで毎年購入物を見直しており、定期預金の証書もグリーン購入により対応しました。

●主な取り組み項目
(事務用品、パンフレット類、銀行書類（伝票、お礼の帯封、証書など）、自動車、コピー機など)

【グリーン購入率】(本店)



※当行では定期預金証書も再生紙を利用しています



環境に配慮した頒布品の取り扱い

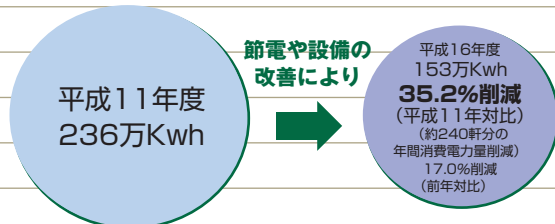
お客さまへの頒布品についても、ケナフ(CO2吸収力の強い一年草)使用のティッシュペーパーや再生陶磁器をご用意。また、銀行の手提げ袋もエコ仕様(ダイオキシンのもとである塩化水素を除去するエコロマスターを使用)にしました。



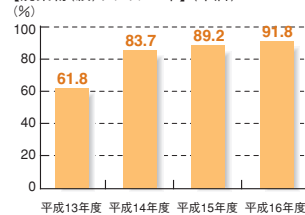
省エネ・省資源活動

■ 省エネルギー推進

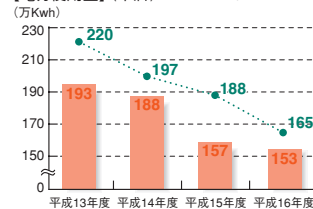
電力使用量の削減に努めています。平成16年度の本店および事務センターの電力使用量は153万kwhとなり、平成11年度対比35.2%の削減を実現しました。削減量は一般的な家庭240軒分の電力使用量に相当します。



【廃棄物(紙)リサイクル率】(本店)



【電力使用量】(本店)

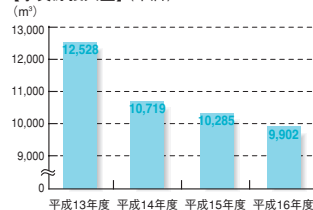


■ リサイクル

使用済みとなった紙のリサイクルを推進しています。当行ではその成果を還元するため、書類をリサイクル処理したトイレットペーパー1万ロールを滋賀県教育委員会を通じて、県立障害児教育諸学校(12校)に毎年寄贈しています。

- 機密関係書類は地元製紙会社にて溶解し、ダンボール素材にリサイクル
- シュレッダーゴミはトイレットペーパーにリサイクル
- 廃蛍光灯を(年間約1,000本)建設資材等にリサイクル

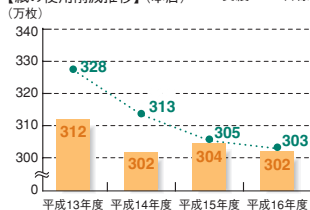
【水資源投入量】(本店)



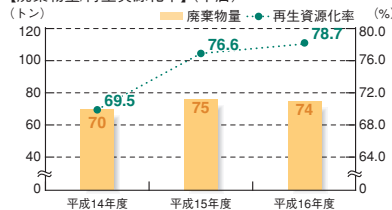
■ 廃棄物の削減

当行では、紙ゴミを中心に徹底した廃棄物削減に取り組んでおり、毎年成果をあげています。

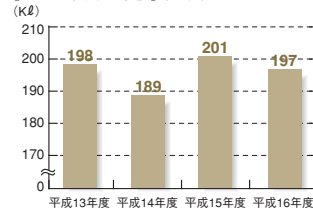
【紙の使用削減推移】(本店)



【廃棄物量/再生資源化率】(本店)



【ガソリン使用量推移】(全店)



地球温暖化防止へ向けて



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

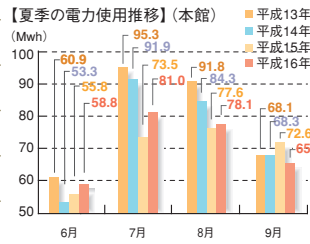
■ チーム・マイナス6%に参加

当行は政府が推進する「チーム・マイナス6%」に参加し、全店で地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。室温のきめ細かな設定（暖房20℃以下、冷房28℃以上）、空調機の運転時間の限定、アイドリング防止による排気ガス削減啓発などにより、温室効果ガス削減に努めています。

■ 平成13年度から継続「ノーネクタイ運動」

当行では、平成13年夏より夏季の省エネ対策として「びわこエコ・サマーキャンペーン」「ノーネクタイ運動」を実施しています。

ノーネクタイの場合、体感温度は約2℃下がるとされ、夏場の省エネ効果を上げています。なお当行は、政府の軽装推進「クール・ビズ」にも賛同しています。



■ 温室効果ガス (CO2) 排出量削減・推進

環境銀行に取り組む当行では、環境関連融資などを通じたCO2削減をはじめ、環境マネジメントシステム運用による当行自身の環境負荷軽減と1975年から継続する苗木の寄贈により、2010年には2000年比30%のCO2削減を目標としています。

【びわこ銀行『STOP!地球温暖化』2010プラン】

西暦	日本	温室効果ガス(CO2) 排出量(トン)					合計	1990年比 (平成2年) 削減率(%)	2000年比 (平成12年) 削減率(%)	2004年比 (平成16年) 削減率(%)	CO2を吸収するのに 必要な杉の本数 (千本)(50年生/年)
		電力 (本店)	都市ガス (本店)	重油 (本店)	ガソリン (全店)						
1990年	平成 2年	1,843	13	97	495	2,448	京都議定書基準年				175
2000年	平成12年	937	16	82	485	1,520	37.9	ISO 14001取組開始			109
2004年	平成16年	586	17	57	465	1,125	54.0	26.0	京都議定書発効	80	
2010年	平成22年	545	17	56	439	1,057	56.8	30.5	6.0	76	

項目	内訳	施策・目標	2000年⇒	2000年⇒
			2004年	2010年
			4年前対比	10年前対比
◆自らの環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量削減 都市ガス使用量削減 重油使用量削減 ガソリン使用量削減等 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器の設置、不要電気OFF 省エネ型の厨房(料理) 暖房時間厳守、温度管理の徹底 アイドリング防止、空ふかし防止キャンペーン 	△395万ト △26.0%	△463万ト △30.5%
◆事業活動を通じた環境負荷軽減	[環境関連事業活動] ・環境サポートローン ・ISOサポートローン ・エコライフプラン等の支援活動によるCO2削減	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ住宅(住宅性能表示) 新エネルギーローン(太陽光発電) 目標:20軒以上/年間 (1軒のご家庭の電力使用量が平均3500Kwh(年間)とし、20%の削減効果があったとして試算) オートローン(エコライフプラン) 目標:5台以上/年間 (環境対応車と従来車との対比を試算) 	△23ト	△55ト
◆緑の森林づくり運動	・昭和50年より苗木の寄贈	<ul style="list-style-type: none"> 継続した植樹活動 ・11万本×14kg=1540ト/年(2004年) ・11.5万本×14kg=1610ト/年(2010年) (50年スギで試算(直径26cm、樹径22m)林野庁ホームページより試算) 	△1,540ト	△1,610ト
CO2期間中排出量/年間			1,125ト	1,057ト
(環境関連事業+びわごん緑と水の基金) =有益・間接的なCO2削減			△1,570ト	△1,693ト
[地球上に排出するCO2] 差し引き			△445ト	△636ト

※温室効果ガス排出仮数は滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例による

環境銀行トピックス

年 月	内 容	主 催 等
平成16年 6月	<p>受賞 関西エコオフィス大賞「大賞」</p> <p>当行の地球温暖化防止に向けた取り組みが、「関西エコオフィス宣言」賛同企業の中で「特に先導的で優れている」と評価されました。</p> 	<p>関西広域連携協議会 (滋賀県など関西2府7県3政令市および経済団体が構成)</p>
平成16年 9月	<p>講演 金融機関環境経営セミナー 第4回環境経営サロン「びわこ銀行の環境経営の取り組みについて」</p>	<p>三重県環境森林部</p>
平成16年 9月	<p>授業 近江八幡市立八幡中学3年生の選択教科(スーパー社会)に特別講師として参加「企業における地球環境保全の取り組み～環境銀行」</p> 	<p>近江八幡市立八幡中学校</p>
平成16年10月	<p>受賞 グリーン購入大賞「優秀賞」</p> <p>環境をビジネスモデルとして銀行経営の柱に位置づけ、お取引先等へも広く働きかけたことなどを評価していただきました。</p> 	<p>グリーン購入ネットワーク</p>
平成16年11月	<p>寄贈 県立障害児諸学校へリサイクルペーパー1万ロール寄贈 機密書類をシュレッダーしてリサイクル</p> <p>1万ロールは生徒が1年間に使用する量(約1,000人)に相当します。</p>	<p>滋賀県教育委員会を通じて寄贈</p>
平成16年11月	<p>講演 ・滋賀県環境学習フェア ・「関西プレスツアー」で海外のマスコミに「環境銀行」の取り組みを紹介しました</p>	<p>滋賀県エコライフ推進課 関西国際広報センター</p>
平成16年12月	<p>出展 ・エコプロダクツ2004「グリーン購入ネットワークセミナー」に出展しました</p> 	<p>日本経済新聞社主催 エコプロダクツ2004(東京ビッグサイト)</p> <p>グリーン購入ネットワーク(GPN)</p>
平成16年12月	<p>パネラー ・エコプロダクツ2004「環境と金融セミナー」にパネリストとして参加しました</p>	<p>経済産業省/日本政策投資銀行</p>
平成16年12月	<p>選出 環境経営度調査 「金融部門第1位」</p>	<p>日本経済新聞社</p>
平成17年 3月	<p>執筆 「ISOエコ家族通信」に当行の省エネ取組を紹介</p>	<p>滋賀県エコライフ推進課</p>
平成17年 3月	<p>取材記事</p> <p>PHPビジネスレビュー 2005年3・4月号 “環境対応に見る「いい経営」”</p> 	<p>PHP総合研究所</p>
平成17年 5月	<p>紹介記事</p> <p>関西広域連携協議会のポスター、ホームページに当行の取り組みが掲載されました。</p> 	<p>同協議会のホームページは「クールビズ」を推進する環境省からも先進事例として紹介されています。</p>

スポーツ貢献

平成5年から始まった「手島杯争奪びわこ銀学童野球」のほか、平成6年には「びわこ銀行杯少年サッカー選抜大会」、平成7年には「びわこカップ滋賀県中学生卓球大会」をそれぞれ創設し、以来、3つのスポーツ大会に協賛しています。当行は、スポーツ大会への協賛を通じて、湖国スポーツのレベルアップと子どもたちの健全な成長を願っています。



手島杯争奪びわこ銀学童野球大会



びわこ銀行杯少年サッカー選抜大会



びわこカップ滋賀県中学生卓球大会